

平成28年度事業報告

● 基本方針

昨年は、アイヌ協会創立70周年を迎え、本年1月に記念式典を挙行了た。

また、公益法人移行後の役員改選を経て、新体制のもと協会運営の健全強化と連携につとめた。一方で、本会員の減少傾向にあることを踏まえ、少人数の地区協会を訪問し相互の連携と組織強化に努めた。

国と道が進める「アイヌの人たちの生活向上に関する推進方策」及びアイヌ文化財団の行う各種事業の執行や内容充実を図るため、各関係機関との連携を保ちつつ政策検討や事業実施について働きかけを行った。

また、国が取り進める「民族共生の象徴となる空間」については、2020年の開設に向け準備が進められており、アイヌ政策推進会議をはじめ、政策推進作業部会や円卓会議の場で働きかけを行った。

「先住民族の権利に関する国際連合宣言（以下、国連宣言）」に照らし、「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会（以下、有識者懇談会）」報告書を基に「アイヌ文化振興法」制定時に残された課題を始めアイヌ民族の積年の願いである立法措置について、国民理解を得ることが重要課題と認識し、全国会議員（衆参両院）への要請活動を行った。

< 2つの項目 >

- 1 組織・活動強化の推進
- 2 事業の推進

1 組織・活動強化の推進

1 要請活動等の展開

アイヌ文化振興法の制定趣旨に基づき、アイヌ文化財団の各種事業展開と密接な連携・協力関係を築きながら、助成事業の実施に取り組んだ。

先住民族としての政策を確立するための活動や訴えについては、超党派議員連盟『アイヌ政策を推進する議員の会（代表世話人今津寛衆議院議員）』（以下、国会議員連盟）をはじめとした国会議員や関係行政機関に対して働きかけた。

「国連宣言」や「人種差別撤廃条約」の内容についての国内理解を促進するとともに、先住民族に関連する情報を入手し、我が国における先住民族の認知がより一層定着する活動を続けた。

また、北海道大学アイヌ・先住民研究センター、各種学会、（公財）人権教育啓発推進センター、反差別国際運動等との情報交換に努めた。

(1) 「アイヌ文化振興法」の施策活用

アイヌ文化の伝承・保存活動への取組みを推進するため、各地区協会はもとより、各古式舞踊保存会などで会員一人ひとりがこの施策を有効に活用できるよう、事業の周知と実施方法についての助言、助力を行った。

(2) 政府並びに各政党に対する働きかけ

アイヌ民族に関する新たな法律の制定に向けて、国民理解を得ることが重要課題であることから、あらゆる機会を通じて要請活動を行った。

- 国会議員（衆参両院）への要請活動 平成28年6月27日（月）～29日（水）
- 参議員当選者（108人）への要請活動 平成29年3月13日（月）～15日（水）
- アイヌ政策を推進する議員の会への要請 平成28年5月18日（水）
- 〃 平成28年12月9日（金）

①中央陳情等

- ・菅 義偉 内閣官房長官 平成28年6月24日（札幌）

②政党等

- ・鈴木宗男 新党大地代表 平成28年4月16日（札幌）
- 〃 平成29年4月29日（札幌）
- ・今津 寛 衆議院議員 平成28年8月8日（札幌）
- ・吉川貴盛 衆議院議員 平成28年10月16日（札幌）
- 〃 平成29年3月6日（札幌）
- ・小川勝也 参議院議員 平成28年10月31日（札幌）
- ・佐藤英道 衆議院議員 平成28年11月12日（札幌）
- ・鈴木貴子 衆議院議員 平成28年11月20日（札幌）
- ・橋本聖子 参議院議員 平成28年11月22日（東京/参議院）
- ・伊達忠一 参議院議員 平成28年12月3日（札幌）
- ・横路孝弘 衆議院議員 平成29年1月14日（札幌）
- ・徳永エリ 参議院議員 平成29年2月24日（札幌）

③関係省庁への要請

- ・古谷一之 内閣官房副長官補 平成28年9月6日（札幌）
- ・松永 明 内閣審議官 平成28年 4月15日（白老）
- 〃 〃 5月27日（東京/内閣府）
- 〃 〃 7月19日（札幌）
- 〃 〃 9月28日（札幌）

④北海道への要請

- ・遠藤 連 北海道議会議員 平成28年5月10日（道議会）
- ・喜多龍一 北海道議会議員（元議長）平成28年8月11日（道議会）
- ・アイヌ政策推進北海道議会議員連盟への要請
平成28年6月24日（道議会）

(3) 象徴空間整備に関する施策の推進の働きかけ

2020年4月開設となる象徴空間の整備、管理運営については、「有識者懇談会報告書」で提言されているとおり、今後のアイヌ政策は、先住民族であるアイヌの文化の復興に配慮すべき強い責任が国にあるという認識に基づき、国が中心となり担うべきであることを強く国に働きかけた。

一方、象徴空間の一体的な運営には、アイヌの主体的参画を確保することが最も重要な観点であるとし、アイヌ政策推進会議をはじめ、運営協議会準備会などで働きかけた。

また、アイヌ文化は地域差があり、それぞれの文化が尊重されるよう、象徴空間整備・イオル事業などが密接に連携し、他地域とのネットワークが構築されるよう働きかけた。

アイヌ人骨の返還・集約等については、これまでの理事会を経て方針を定め、総会において決議されたところであり、遺骨承継者に返還できる遺骨を除き、速やかに当該施設に集約し、一刻も早く尊厳ある慰霊体制を確立することを求めた。

また、アイヌ遺骨の地域返還の基本的な考え方については今後の検討事項とされた。

慰霊施設については、内閣官房（北海道分室）との協議の場（円卓会議）において、慰霊施設の構成、整備スケジュール、周辺整備について協議した。

①アイヌ政策推進会等への出席

◇アイヌ政策推進会議（第8回）

日時：平成28年5月13日（金）

場所：総理大臣官邸

議事：「政策推進作業部会報告」について

慰霊施設の整備方針について

アイヌ政策の推進状況について

意見交換

◇政策推進作業部会

第25回 平成28年4月21日（木）

- ・政策推進作業部会報告書のとりまとめについて

第26回 平成28年7月28日（木）

- ・アイヌ総合政策の新たな推進体制について
- ・象徴空間の整備・管理運営に関する一体的な検討体制について
- ・アイヌ遺骨について

第27回 平成28年10月6日（木）

- ・平成29年度アイヌ政策関係予算概算要求の状況について
- ・アイヌ遺骨について

第28回 平成28年11月7日（月）

- ・地域におけるアイヌ文化復興の取組事例について
- ・アイヌ遺骨について

第29回 平成29年2月16日（木）

- ・地域におけるアイヌ文化復興の取組事例について
- ・アイヌ遺骨について
- ・民族共生象徴空間について

第30回 平成29年3月23日（木）

- ・アイヌ遺骨について

- ・ 民族共生象徴空間について

◇ 慰霊施設RT（ラウンドテーブル）

第3回 平成28年4月7日

- ・ 白老町整備予定地視察、整備区域、立木の高低、繁茂状況の実地見分

第4回 平成28年4月13日

- ・ 慰霊施設の外壁、モニュメントについて

第5回 平成28年9月27日

- ・ 慰霊施設の整備方針、スケジュールについて
- ・ 各施設の具体化
- ・ 慰霊施設の周辺環境整備について

第6回 平成28年11月21日

- ・ 第5回のRT検討状況の確認
- ・ 各施設の具体化

第7回 平成29年3月21日

- ・ 第5回のRT検討状況の確認
- ・ 各施設の具体化

◇ 慰霊施設を象徴とするモニュメント検討会

第1回 平成28年12月12日

- ・ モニュメントデザインを検討する方向性を検討

第2回 平成29年1月23日

- ・ モニュメントのコンセプト、構造・仕上材、高さやデザインを論議検討

第3回 平成28年2月24日

- ・ モニュメントデザインを検討する方向性を検討

第4回 平成29年3月27日

- ・ モニュメントのコンセプト、構造・仕上材、高さやデザインを論議検討

（４） 農林漁業対策の推進

農林漁業対策については、地域の営業実態に応じた生産基盤や近代化施設の整備を進めるため、引き続きアイヌ農林漁業対策事業の積極的な活用を図るとともに、団体会員への制度理解に努めた。

（５） 住宅対策の推進

住宅の改善を促進するため、継続的な予算措置を求めた。

（６） 先住権、人権に係わる機関・組織等に対する働きかけ

① 法務省の啓発事業「アイヌの人々の人権擁護の観点からの啓発」への協力をするとともに、イランクラブキャンペーンなどの啓発事業や各種人権啓発資料の活用などにより、人権思想の普及・啓発に努めた。

② アイヌ民族の先住域である千島、樺太、北海道などの歴史的な実証資料や図書資料の収集につとめた。

アイヌ協会活動に関する理解、アイヌ史の正当な位置づけを求めるため、歴史学研究会、日本考古学協会、日本文化人類学会、日本人類学会などの各種学会や北海道大学「アイヌ

・先住民研究センター」へ働きかけ、「アイヌ学」や「アイヌ史」の構築に向けて、協力、連携を進めた。なお、日本考古学協会及び日本人類学会両学会代表役員とともに円卓会議を設け、これまでこれからの研究のあり方について協議し、「これからのアイヌ人骨・副葬品に係る調査研究の在り方に関するラウンドテーブル」報告がまとめられた。

また、平成28年9月1日、京都で開催された世界考古学会議全体会(1,700人)において加藤理事長が出席し、世界に渡ったアイヌ遺骨返還に関する国際協力、さらにはアイヌ民族のルーツ解明のため標津町のポー川遺跡の学術調査について世界の研究協力をスピーチの中で呼びかけた。

(7) 伝統的生活空間再生の働きかけ

イオル先行実施地域においては、第3期目の計画時期を迎え、白老・平取地域及び札幌地域、新ひだか地域の充実と今年度からスタートした十勝及び残る2地域(釧路・旭川)の支援を継続して進めた。

また、イオル推進委員会を開催し、情報の共有と今後の空間整備のあり方について、協議した。

日 時：平成28年3月15日(火)

場 所：かでの2・7

参加地区：白老、平取、札幌、新ひだか、帯広、釧路(阿寒)

(8) 自主的啓発活動の推進

平時、内外からの照会に応じて啓発活動の推進に努めた。

あわせて広報紙、冊子、チラシ、道の啓発誌、DVDなどをとおして、平時継続的な周知を図った。

(9) ホームページの充実

当法人のホームページをリニューアルし、アイヌ協会の活動方針や各種資料、最新の情報提供に努めた。

また、新規会員募集についての情報提供を行った。

(URL : <http://www.ainu-assn.or.jp>)

(10) 「アイヌ文化交流センター」の運営への協力

全国に向けたアイヌ文化の発信拠点として、東京都に設置されている「アイヌ文化交流センター」との連携を図り、事業運営等に協力した。

(11) 道外在住アイヌに対する施策実現への働きかけ

国が主体となった総合的なアイヌ政策を本道に加え全国を対象に推進していく根拠となる法律が制定されるよう国に要請していることから、関東域の関係団体・個人と連絡を密にして情報共有し、今後の取り組み方について意見交換を行った。

また、東京オリンピック・パラリンピックにおけるアイヌ文化発信プログラムの企画検討に関東域の関係団体とも連携し、協議を行った。

(12) 北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの事業連携

同センター実施事業への協力を行うとともに、当協会事業に対するセンター教員等の支援協力を得た。

(13) 北海道博物館（アイヌ民族文化研究センター）とも連携を密にし、事業の推進に協力した。

(14) 教科書等のアイヌ民族に関する調査研究

一昨年3月、平成28年度から使用される歴史教科書の検定で一部の出版社の「旧土人保護法」の解説に検定意見が出され修正された経緯を踏まえ、平成28年度に学習指導要領改訂に際して行われたパブリックコメントに、民族固有の系統的な歴史的事実を反映した歴史記述のあり方などが反映されるよう求めた。

(15) 教育相談員の配置等

既存の北海道教育庁、市教育委員会に配置されている教育相談員と協力・連携し、地元の意向に即した支援を行った。

(16) 図書・刊行物等の過誤対応

図書、各種出版物や観光資料などの記述に過誤があった場合は、速やかに改善を求めていくとともに、観光バスガイドテキストの有効活用、(公社)北海道観光振興機構に設置された「アイヌ文化部会」など関係機関と連携、協力しながら正確な知識の普及に努めた。

(17) 「記念事業等のあり方」対応

昨年度は、北海道150年記念事業の実施に向けた「北海道150年道民検討会議」に参画し、先住民族アイヌの歴史・文化について正しい理解の基に検討が進むよう働きかけた。

◇北海道150年道民検討会議

第1回 平成28年6月10日(金)

第2回 平成28年8月8日(月)

第3回 平成28年10月19日(水)

市町村の「開基記念事業」については、事業名称や実施内容に不適切な事例報告を受けなかったが、継続して情報収集につとめた。

(18) 「FSC森林認証制度における管理木材リスク評価」について

「製紙会社が調達する北海道産木材がアイヌの伝統文化継承を阻害するような森林伐採に由来しないか、或いは森林域においてアイヌ文化の振興・発展にどのような支援が必要か」といった観点で王子製紙と日本製紙が実施するヒアリングに道協会・関係地区協会が協力した。

また、FSCジャパンの国内森林管理規格策定に関する先住民族ワーキンググループの検討作業に参画し、第5版規格改定作業に意見を述べ、概ね主張が反映され引き続きの作業が進められることとなった。(平成30年度終了予定)

実施地域：平取町／白老町／釧路市／清水町／三笠市／幕別町／名寄市／旭川市／
佐呂間町／広尾町／喜茂別町

実施内容：FSC認証制度の説明及び意見交換

2 組織の強化

(1) 団体会員等との連携強化

公益法人法の移行3年目を迎え、アイヌウタリが一致団結し運動を展開するため、過去の不祥事で生じた協会返還金に当時の役員が結束しその責任を果たすなど、負の経験を省み二度とくり返さぬよう常に心に刻むこととし、各地区協会（団体）や会員（本会員）への情報提供や共有を図りつつ、組織運営に努めた。

各地区協会の総会、役員会等に出向き事務・会計などの相談に応じつつ、地区別懇談会を開催してきた。

また、「会員研修事業」や「アイヌ協会役員研修・連携会議」を有効に活用し、会員の意識の向上と組織連携や強化を図った。

<参加地区、出席役員一覧表>

※各地区協会からの通知、報告もとに掲載

期 日	行 事 名	出席役・職員
平成28年 4月 3日(月)	芽室アイヌ協会総会	
4月 4日(月)	標津アイヌ協会総会	
4月10日(日)	新冠アイヌ協会総会	理事長
4月10日(日)	えりもアイヌ協会総会	理事長
4月10日(日)	千歳アイヌ協会総会	
4月12日(火)	弟子屈アイヌ協会総会	
4月16日(土)	苫小牧アイヌ協会総会	理事長
4月16日(土)	伊達アイヌ協会総会	
4月16日(土)	阿寒アイヌ協会総会	
4月17日(日)	旭川アイヌ協会総会	
4月17日(日)	洞爺湖アイヌ協会総会	
4月17日(日)	平取アイヌ協会総会	
4月17日(日)	様似アイヌ協会総会	
4月17日(日)	むかわアイヌ協会総会	
4月24日(日)	白糠アイヌ協会総会	
4月24日(日)	三石アイヌ協会総会	
4月24日(日)	浦河アイヌ協会総会	
4月24日(日)	新ひだかアイヌ協会総会	理事長
4月27日(水)	釧路アイヌ協会総会	
4月28日(木)	室蘭アイヌ協会総会	

期 日	行 事 名	出席役・職員
4月29日(金・祝)	白老アイヌ協会総会	
5月14日(土)	新ひだか シベチャリ武四郎まつり	
5月14日(土)	登別アイヌ協会総会	
5月15日(日)	日高地区アイヌ協会連合会総会	
5月15日(日)	札幌アイヌ協会総会	
5月15日(日)	幕別アイヌ協会総会	
5月30日(月)	様似 イチャルパ	
6月 5日(日)	新ひだか 第28回イチャルパ	
6月19日(日)	標津 第8回標津イチャルパ	理事長
6月25日(土)	平取アイヌ協会青年部第6回ウレクレク	
7月 7日(木)	長万部 先祖供養祭	理事長
7月23日(土)	豊浦 カムイノミ・イチャルパ	
8月 7日(日)	白糠 第38回ふるさと祭	
8月 7日(日)	むかわ アイヌ碑カムイノミ	理事長
8月10日(水)	白老 第12回白老アイヌ碑慰霊祭	
8月13日(土)	八雲 ウタリ先駆者鎮魂之碑へのお参り	理事長
8月29日(月)	阿寒 第27回阿寒町納骨堂イチャルパ	
8月28日(日)	むかわ 第33回碑前祭	
8月27日(土)、28日(日)	釧路 第45回コタン祭り	
8月28日(日)	浦河 平成28年度イチャルパ	
9月 4日(日)	千歳 アシリチェプノミ	
9月 4日(日)	白糠 第21回フンペ祭	
9月10日(土)	登別コタンノミ	
9月11日(日)	網走 第14回カムイチェップ祭	
9月11日(日)	釧路 第35回カムイチェップ祭	
9月11日(日)	浦河 第4回ウタリンピック	
9月10日(土)、11日(日)	根室 第42回ノッカマップ・イチャルパ	
9月17日(土)	白老 第28回しらおいチェプ祭	

期 日	行 事 名	出席役・職員
9月18日(日)	新冠 第34回イチャルパ	
9月18日(日)	苫小牧 第10回 カムイチェップノミ	
9月22日(木・祝)	第70回シャクシャイン法要祭	理事長
10月 2日(日)	厚真 カイムノミ・イチャルパ	
10月 2日(日)	三石 第23回イチャルパ	理事長
10月11日(火)	恵庭アイヌ協会総会	
10月23日(日)	浦河 パセオンカムイカムイノミ	
10月28日(金)	シャクシャイン古戦場跡碑除幕式 長万部	理事長
11月 6日(日)	白糠 第37回ししゃも祭	
11月13日(日)	第36回浦河アイヌ協会敬老会	
11月13日(日)	函館アイヌ協会イチャルパ	
平成29年 1月15日(日)	千歳 アシリパノミ	
1月22日(日)	苫小牧 アシリパカムイノミ	
1月29日(日)	むかわ アシリパカムイノミ	
2月10日(金)	長万部アイヌ協会総会	理事長
2月19日(日)	シシリムカアイヌ文化祭	
2月25日(土)	八雲アイヌ協会総会	理事長

(2) 立法措置による全国展開のアイヌ施策への具現化

新しい法律制定を目指し、国民理解を深めていただくため、国民を代表する衆参両院議員に要請書を持参しご理解とご協力をお願いした。

(3) 国際文化交流事業の推進

青少年の海外研修事業が平成24年度からアイヌ文化財団の直轄事業として創設されたことから、この事業への協力、会員子弟への参加奨励など、組織強化につながる人材育成事業の取組みを支援した。

(4) 会員研修事業の開催

協会理事会と各関係団体は常に情報を共有し密接な連絡調整を保つことが重要であることから、団体代表者等が一堂に集い、研修・意見交換を行った。

日 程：平成29年1月20日(金)～21日(土)

場 所：かでの2・7

参加者：各地区協会代表者 37名

内 容：研修会

- ・ 法人の活動、組織協会等について
- ・ 自由討議

記念講演Ⅰ

- ・ 「近世社会の変容と蝦夷地」

横山伊徳（東京大学史料編纂所教授）

記念講演Ⅱ

- ・ 「アイヌ語復興の課題と展望」

中川 裕（千葉大学文学部教授）

記念報告

- ・ 「北海道」のはじまりから「旧土人保護法」へー土地、狩猟と漁業の資源ー
山田伸一（北海道博物館学芸主査）

- ・ アイヌ新法案からアイヌ文化振興法の制定へ

中村睦男（北大名誉教授、元北大総長）

- ・ アイヌ政策における法律の役割（仮題）

常本照樹（北大アイヌ・先住民研究センター長）

自由討議、意見交換

(5) 地区別懇談会の開催

「アイヌ文化振興法」の活用や協会活動などへの理解と参加促進、団体活動の活性化と団体組織の強化を図るため、各団体が抱えている課題や実情に応じた地区別懇談会を開催した。

地 区	日 程	場 所	内 容
胆振東部 (合同)	平成28年9月25日(日) 15:00-17:00	苫小牧市生活館	(1) 国の動向(H28の経過説明/法律制定等)について ・ 民族共生象徴空間/慰霊施設 (2) 協会の関連取組について ・ 世界考古学会 ・ 国際森林認証 ・ 学習指導要領 ・ 北海道150年道民会議 (3) 創立70周年記念事業について ・ 市町村議会への意見書提出要望 ・ 寄付金募集活動について ・ 記念事業の開催概要(案) (4) 意見交換
胆振西部 (合同)	平成28年10月28日(金) 15:00-17:00	有珠生活館	
弟子屈 (単体)	平成28年11月26日(土) 16:00-18:00	屈斜路コタン生活館	
十勝 (合同)	平成28年11月27日(日) 13:30-15:30	帯広市生活館	
浦河 (単体)	平成28年12月17日(土) 18:30-20:30	浦河町 堺町生活館	
日高 (合同)	平成29年1月29日(日) 13:00-15:00	平取町二風 谷生活館	
白糠 (単体)	平成29年2月10日(金) 18:30-20:30	白糠生活館	
根室 (合同)	平成29年2月11日(土) 11:00-13:30	標津町生涯 学習センター	
釧路 (単体)	平成29年3月17日(金) 18:00-20:00	釧路市春採 生活館	
阿寒 (単体)	平成29年3月18日(土) 18:00-20:00	阿寒町緑町 生活館	

(6) 青年女性対策の推進

青年の立場、女性の立場から文化の伝承・保存や組織強化の活性化などについて研修を行った。また、全道から集まった会員との交流を通じて、他地域の現状や取組について情報共有が図られた。

「青年・女性の集い」の実施

- ・日 程：平成28年11月12日(土)～13日(日)
- ・場 所：国立日高青少年自然の家
- ・参加者：各地区協会本会員(家族)、事務局 41人
- ・内 容：アイヌ文化ワークショップ(ウポポとリムセ/アイヌ語)
講演「アイヌの精神文化について」
各地区協会の活動報告

(7) 各種相談員の合同研修会などの実施

会員の生活・経済の向上と団体活動の活性化を図るため、生活・職業・教育相談員、さらに経営改善普及指導員による合同研修会や特別研修会を開催した。

アイヌ関係各種相談員研修会

- ・日 程：平成28年7月7日(木)～8日(金)
- ・場 所：札幌市(かでの2・7)
- ・参加者：生活相談員、職業相談員、教育相談員、経営改善普及指導員 41人
- ・内 容：実務研修、グループ討議、映像視聴
講演「アイヌ民族の概説と現在の協会の取組について」

(8) 連帯意識の高揚

各種貸付金の返還について、各個人の責任において必ず履行されるよう償還義務の確認、連絡徹底に努めた。また、償還が滞っている地区協会と連携し償還督促に努めた。

(9) 生活館活動の充実

生活館活動については、各地区独自の活動実施にとどまった。

(10) 市町村への働きかけ

アイヌ民族に関する新たな法律の制定を求めるためには、広く道民の理解が必要であることから、道内市町村議会に対して、国への法律制定を求める意見書提出について協力を要請した。(意見書議決状況：平成29年3月31日現在、39市町村)

市町村が行っているアイヌ関連施策の充実、生活格差の是正等、引き続きアイヌ施策や推進体制が充実するよう働きかけた。

(11) 財政基盤の強化

会費収入は減少傾向(本会員の減)にあり、賛助会員、寄付金などの自主財源の確保に努めた。

3 会務の運営

(1) 理事会、アイヌ協会役員研修・連携会議の開催

総会で議決された事項及び会務の執行を適正かつ効果的に推進するため、理事会を年4回程開催した。

<理事会>

回数	開催日	場所
第1回	平成28年4月28日(木)	札幌市
第2回	平成28年7月15日(金)	札幌市
第3回	平成28年12月16日(金)	札幌市
第4回	平成29年3月29日(水)	札幌市

<役員研修・連携会議>

回数	開催日	場所
第1回	平成28年4月27日(水) 28日(木)	札幌市
第2回	平成28年7月14日(木) 15日(金)	札幌市
第3回	平成28年10月26日(水) 27日(木)	札幌市
第4回	平成28年12月15日(木) 16日(金)	札幌市
第5回	平成29年3月28日(火) 29日(水)	札幌市

(2) 監事の監査機能の充実など

公益法人移行後の平成28年度の執行部の業務や一般会計、特別会計の適正執行に努め、監事監査とともに公認会計士による監査を実施した。

- ・監事会計監査：平成28年12月22日、平成29年4月21日
- ・公認会計士監査：平成29年4月21日

2 事業の推進

(1) 社会的地位の向上に関する啓発と施策の推進

先住民族アイヌに関する知識の普及と理解促進のため、一般市民及びアイヌ当事者に対し、国際人権規範や人種、民族等に係る情報収集や対面交流等、適切かつ効果的手法により各種広報・啓発を行った。

① 広報紙「先駆者の集い」の発行

年3回(B5版p.8)各4,500部発行。協会団体会員本会員、賛助会員や行政機関、研究者等

に無料配付した。

②ホームページによる情報発信

当協会ホームページを改新し、先住民族アイヌの情報（組織概要、アイヌ史年表、国連活動、民芸品事業者、観光ガイド等）を発信した。

③印刷物の発行

アイヌ協会の活動を紹介する「アイヌ民族の概説（B5版）」を作成した。

④「2015年 国際先住民族の日記念事業」の開催

「国際先住民族の日」制定趣旨とアイヌ民族の歴史・文化・現状についての啓発事業を実施した。

- ・日 時：平成28年8月6日（土）
- ・場 所：札幌国際ビル 国際ホール
- ・参加者：一般道民及びアイヌ協会員 154人
- ・テーマ：考古学・人類学とアイヌ民族—最近の研究成果と今後の研究のあり方—
 - 報告① 日本人類学会 近藤 修（東京大学准教授）
 - ② “ 安達 登（山梨大学教授）
 - ③ 日本考古学協会 手塚 薫（北海学園大学教授）
 - ④ “ 関根達人（弘前大学教授）
 - コーディネーター 加藤博文（日本考古学協会・北海道大学教授）
 - パネリスト 佐藤宏之（日本考古学協会・東京大学教授）
 - “ 石田 肇（日本人類学会理事・琉球大学教授）
 - “ 阿部一司（アイヌ協会副理事長）
 - “ 佐藤幸雄（事務局次長）

(2) 各種貸付金の貸付

福祉（緊急使途支援）、環境整備（浴室、墓碑整備）、入学一時（大学、私立高校、専修学校）を、道内に居住するアイヌの生活向上や生活環境整備の支援のために、使途に応じて各種貸付を行った。

①福祉資金（緊急に生活資金が必要となった者への貸付／無利子・年度内償還）

- ・貸付限度額10万円以内 32件（3,200,000円）の活用があった。

②環境整備資金（浴室・墓碑整備に要する費用の貸付／無利子・据置き期間は貸付日の属する年度末迄。その期間経過後2年以内の償還）

○浴室整備資金

- ・貸付限度額20万円以内 0件

○墓碑整備資金

- ・貸付限度額30万円以内 1件（300,000円）の貸付を行った。

③入学一時資金（大学・私立高校・専修学校の入学時に要する費用の貸付／無利子・据置き期間は各資金種別の修業年限以内経過後3年以内）

○大学入学一時資金

・貸付限度額30万円以内 1件（300,000円）の貸付を行った。

○私立高校一時資金

・貸付限度額20万円以内 1件（102,000円）の貸付を行った。

○専修学校一時資金

・貸付限度額30万円以内 3件（900,000円）の貸付を行った。

（3）職業の確立及び教育の振興に関する施策の推進

道内居住アイヌの就労、就職に係る技能向上や各種免許取得等の所要経費の助成並びに就職相談や求人開拓等に携わるアイヌ雇用推進員設置による指導、アイヌ民工芸品生産者を対象に販路拡大や就業支援、技能向上などの各種支援策を推進した。

①就職奨励事業

○就労や就職に係る支度費用や就職条件のための「就職支度資金」、「自動車等免許取得資金」などの所要資金を助成した。

・就職支度資金23,760円 0件

・技術習得資金50,000円以内 22件（1,049,700円）の給付を行った。

②アイヌ雇用促進事業

○アイヌの雇用促進に対処するため雇用推進員を設置、就労・就職相談や求人開拓等によりアイヌの雇用と生活安定の促進を図った。

・全道13カ所のハローワークに雇用推進員を配置し、当該業務に従事した。

延べ338日間の活動で509件の相談を受理、101件の就職・求人に結びつけた。

平成28年度活動実績は次のとおり。

項 目		月 別												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1. 活動日数		25	28	27	27	29	29	29	29	29	29	28	29	338
2. 相談 件数	1) 求職者相談件数	36	38	37	43	41	52	49	46	42	46	41	41	512
	有効求職者	30	31	29	38	29	32	29	41	36	33	32	32	392
	新規学卒者	1	1	0	0	2	1	1	1	0	0	0	3	10
	その他	5	6	8	5	10	19	19	4	6	13	9	6	110
	2) 事業所相談件数	0	0	1	0	1	1	2	0	1	0	0	2	8
	一般求人	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	新規学卒者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	2	6
3. 安定所に取 次いだ件数	求職取次	4	8	6	7	7	8	7	2	8	10	12	11	90
	求人取次	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
4. 職場適応指導件数		4	2	1	3	0	4	6	0	4	2	1	0	27
5. 安定所に取り次いだ求人 情報のうち求人受理件数 (求人数)		0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
		0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
6. 就職に至った件数		8	8	5	11	7	14	5	0	8	10	11	14	101

③アイヌ中小企業振興対策事業

○アイヌ民芸品生産者の販路拡大や後継者育成、さらには新製品開発や需要喚起、民芸等の製作技術や文化の普及・理解促進のために行う作品展示、製作実演・体験などによる「民芸品展示会」を開催した。

開催地	場 所	期 間	体験講師／実演者
千歳市	新千歳空港 ターミナルビル 2階	平成28年 10月8日(土) ～ 10日(月)	体験講師 ①長縄由加利 ②貝澤竹子 実演展示 ①吉田信男(木ぼりの吉田民芸) ②荒木 繁(あらき木彫製作所) 古式舞踊の公演 苫小牧アイヌ文化保存会
	新千歳空港 ターミナルビル 2階	平成28年 11月21日(月) ～ 23日(水)	体験講師 ①藤原スエ子(カイザー) ②長縄由加利 実演展示 ①石井美香 ②吉田信男(木ぼりの吉田民芸) 古式舞踊の公演 平取アイヌ文化保存会
	新千歳空港 ターミナルビル 2階	平成29年 2月24日(金) ～ 26日(日)	体験講師 ①貝澤竹子 ②長縄由加利 実演展示 ①藤原スエ子(カイザー) ②山田祐治(やまだ民芸社) 古式舞踊の公演 千歳アイヌ文化伝承保存会
東京都	ギャラリー八重 洲・東京	平成29年 1月18日(水) ～ 22(日)	体験講師 ①石井美香 実演展示 ①間宮喜代子 ②荒木 繁(あらき木彫製作所)

○博物館の民族資料の熟覧・講習受講等による知識・技能等の向上、先進地視察や国立民族学博物館の外来研究、技術指導受講などによる研鑽、調査研究及び経営研修などを進める「工芸者技術研修」を行った。

<道外研修>

広く参加を呼びかけたが応募者がなく本年度の研修を見送ることとなった。

<道内研修>

アイヌ工芸者の技術向上と経営手法を習得するため、熟練工芸作家による技術指導と経営や販売促進に関する研修を実施した。

- ・研修期間：平成29年2月～3月
- ・講師：①技術指導 優秀工芸師 宮田初枝
②経営セミナー 中小企業診断士 後藤直樹
- ・参加者：廣川和子（帯広）／今井まるみ（札幌）／竹内明美（札幌）
木村涼子（浦河）
- ・報告会：研修終了後、研修報告会を実施した。

④「アイヌプロダクツ（アイヌ協会活動促進費）」事業

アイヌ文様を用いた新たな商品開発を推進するため、アイヌ協会優秀工芸師などの工芸作家からデザインを公募、文様カタログを製作し、一般企業からの照会や文様の活用を促進する取組を始めた。

(4) 民族文化の保存・伝承及び発展に関する施策の推進

①アイヌ伝統工芸展開催事業

- ・期 間 平成29年2月4日(土)～8日(水)
- ・場 所 かでる2・7 1階展示ホール
- ・参加地区数 10地区協会(36人)
- ・出品数及び 伝統工芸品部門 37点 一般工芸品部門 41点 計78点
- ・審査委員 前北海道文学館学芸員 浅川 泰
北海道立総合研究機構 工業試験場製品技術部 日高 青志
(敬称略) 北海道博物館 出利 葉浩司
北海道テキスタイル協会代表 戸坂 恵美子
北海道アイヌ協会優秀工芸師 西田 香代子
北海道アイヌ協会優秀工芸師 浦川 太八
- ・受賞者一覧

	伝 統 工 芸 品 部 門			一 般 工 芸 品 部 門		
	作品名	地区名	氏 名	作品名	地区名	氏 名
最優秀賞 (※1)	樺太着物	札幌	檜木貴美子	樺太アイヌ刺し ゆうバッグ	札幌	斎藤芳子
優秀賞 (※2)				ショルダーバッ ク	浦河	向井今子
優秀賞 (※3)	ルウンペ	札幌	阿部紘美			
優秀賞 (※4)	カパラミプ	登別	芳賀美津枝	エムシアッ模様 の壁かけ	浦河	堀 悦子
奨励賞	カパラミプ	平取	木村弘美	ブローチ	釧路	伊藤夕美
同	ルウンペ	登別	武田裕美	バッグ	白老	吉国幸子
同	ルウンペ	白老	小美浪フミ	タペストリー	札幌	長縄由加利
同	ルウンペ	白老	河岸洋美	コタンコロカム イ翔	白老	山田祐治
同	前タレ	帯広	廣川和子	タペストリー	白老	河岸麗子
同	サラニブ	幕別	安東春江			

※1 最優秀賞 (北海道知事)

※2 優秀賞 (北海道議会議長)

※3 優秀賞 (北海道教育委員会教育長)

※4 優秀賞 (かでる賞)

②アイヌ民俗文化財伝承・活用事業（道教委委託事業）

○アイヌ民俗文化財理解のための用語や伝統技術の習得、民俗芸能の伝承等の講座を開設し一般市民及びアイヌ同胞への伝承普及等を図った。

- ・アイヌ民俗技術伝承講座 5会場（苫小牧/白老/浦河/帯広/釧路）
- ・アイヌ民俗芸能伝承講座 5会場（苫小牧/白老/むかわ/帯広/釧路）
- ・アイヌ民俗文化財総合伝承講座 1回（札幌）
- ・アイヌ民俗技術・芸能伝承講座発表・展示 1回（苫小牧）

③アイヌ民族文化祭事業

国際先住民の10年の周知・啓発と民族文化の伝承と発展を図るため、北海道アイヌ協会創立70周年記念「アイヌ民族文化祭2016」を開催した。

◆開催日時：平成29年1月21日（土）10:30～16:30

◆開催場所：かでの2・7 かでのホール

◆入場者数：520人

◆内 容：記念講演

- ・「アイヌ語復興の課題と展望」

中川 裕（千葉大学文学部教授）

記念報告

- ・「北海道」のはじまりから「旧土人保護法」へー土地、狩猟と漁業の資源ー
山田伸一（北海道博物館学芸主査）
- ・アイヌ新法案からアイヌ文化振興法の制定へ
中村睦男（北大名誉教授、元北大総長）
- ・アイヌ政策における法律の役割「仮題」
常本照樹（北大アイヌ・先住民研究センター長）

アイヌ文化公演

- ・二風谷アイヌ語教室子どもの部
- ・アイヌ文化伝承者 川上容子
- ・カピウ&アパッポ
- ・江差追分会
- ・帯広カムイトウウポポ保存会

(5) 諸民族との交流及び情報交換

①国内文化交流事業

○北海道大学及び札幌医科大学イチャルパ（供養祭）など、古式に則る先祖供養の実施により伝統文化の体験交流と技能習得による保存活動を実施し、併せて人類学等の研究者、大学関係者との遺骨返還方法等の協議や研究成果の社会還元、相互理解等を図った。

「北大イチャルパ文化交流の集い」ー北海道大学アイヌ納骨堂におけるイチャルパー

- ・日 程：平成28年8月5日（金）11:00～14:30
- ・場 所：北海道大学医学部敷地内「アイヌ納骨堂」
- ・参加者：130人

「札幌大イチャルパ文化体験交流の集い」－札幌医科大学におけるイチャルパー

- ・日 程：平成28年10月5日（水）
- ・場 所：札幌医科大学構内
- ・参加者：70人

○文化理解の促進と伝承活動の活性化を図るため、アイヌ古式舞踊の保存団体を招聘した「芸能交流会」を開催し、各地に伝わる舞踊や歌、楽器演奏等を一般市民やアイヌ同胞に紹介した。

「芸能交流会」

- ・日 程：平成28年9月22日（木・祝）
- ・場 所：真歌公園広場（新ひだか町静内真歌）
- ・集客、参加人数：250人（14団体）

○後継者の育成とアイヌ文化等の理解促進を図るため、「優秀工芸師」による「優秀工芸師秀作展示交流会」を開催し秀逸な作品の展示、技術指導を行った。

- ・日 程：平成29年2月4日（土）～7日（火）
- ・場 所：かでる2・7 1階展示ホール
- ・実演者：優秀工芸師 7人

（6）道立アイヌ総合センターの管理

北海道条例に基づき指定管理者として道立アイヌ総合センターの指定管理業務を行った。

- ・保守管理業務→設備、備品、資料の保守管理
- ・施設利用に関する業務→利用受付、案内
- ・情報提供に関する業務→資料収集・保管、資料展示室の案内・開設、情報提供
- ・学習事業に関する業務→講習会等の開催、資料提供
- ・管理事業に関する業務→パンフレットの配布、アイヌ文化伝承保存のための普及啓発
- ・利用承認に関する業務→申込書の收受、承認書の交付
- ・災害、事故時対応 →利用者の安全確保、関係機関への連絡通報、応急処置等
- ・各種報告等 →事業報告等
- ・その他 →関係団体との調整等

○一般市民に対しアイヌ民族への理解を深めるため、常設展示や関係図書、史・資料の利活用の促進を図った。施設空間の活用などによりアイヌ文化の体験学習や講習会を実施、伝承と保存活動を推進した。

平成28年度アイヌ総合センター学習事業実績

講習名	日程	講師名	延べ人数
アイヌ刺しゅう講習会 初級Ⅰ (バッグ)	7月4日、7日 11日、14日	宮田初枝	20人 (5人×4回)
アイヌ刺しゅう講習会 中級Ⅰ (小さなチヂリ)	8月22日、29日 9月5日、12日	宮田初枝	24人 (6人×4回)
アイヌ刺しゅう講習会 中級Ⅱ (小さなルウンペ)	10月17日、24日、 31日、11月7日	宮田初枝	40人 (10人×4回)
アイヌ刺しゅう講習会 上級 (大人用半被)	7月4日、7日、 11日、14日、 8月22日、29日、 9月5日、12日、 10月17日、24日、 31日、11月7日	宮田初枝	64人 (8人×12回)
合計			180人

○自主事業等の実施

(自主企画事業)

- ・アイヌ民工芸品（北海道アイヌ伝統工芸展受賞作品）をアイヌ総合センター内に展示し、優秀作品の鑑賞機会の提供と伝承技術の奨励を促進した。

(広報活動等)

- ・アイヌ協会ホームページ、講習会周知、かでの広報への施設案内・行事の周知を行った。

(7) 人種、民族に関する調査研究及び提言

先住民族アイヌに関する文化的伝統や慣習、歴史、言語、文化遺産、文化的表現を保持、管理、保護し、発展させるため、必要な情報収集に努めた。

①アイヌ民俗文化財調査事業 道教委委託事業

○故金成マツ筆録、ユカラ翻訳整理及び伝統的な生産業、民俗技術、口承文芸などの調査を行った。

- ・萱野茂二風谷アイヌ資料館保管の金成マツノート中、3話の翻訳整理と原稿化。
表記法等：(筆録原文音素表記・アイヌ語カナ表記・邦逐語訳/対訳) 3編。
- ・民俗技術の調査

(8) アイヌ文化発信プログラム事業

2020年に開催される「東京五輪」でアイヌ文化を世界に向けて発信することを目的に道内各保存会及び関東4団体、道内外の文化伝承活動を行っている任意団体から構成する「アイヌ文化発信検討会議」を設置し、2回の作業部会と検討会議を開催した。

また、内閣官房東京オリ・パラ競技大会推進本部、公益財団法人東京オリ・パラ競技大会組織委員会、組織委員会の理事をつとめる橋本聖子参議院議員に先住民族アイヌの文化発信について協力を要請した。

○第1回作業部会：平成28年 8月29日(月)

- 内 容：①第8回冬季アジア競技大会について
②夏季オリンピック開会式映像の視聴(シドニー、リオデジャネイロ)
③アイヌ文化発信の具体的検討

○第2回作業部会：平成28年10月18日(火)

- 内 容：①第8回冬季アジア競技大会について
・実行委員会との調整、参加候補者の検討
②アイヌ文化発信の具体的検討
・知里幸恵「アイヌ神謡集」(序文)を踏まえた「歴史の流れ」(土台)を基に継続検討

○第1回 全体会：平成28年12月6日(火)

- 内 容：①第8回冬季アジア競技大会について(対応報告)
②平成28年度作業部会等の開催状況(報告)
③2020東京オリパラ実行委員会等への要請(報告)
④アイヌ文化の今後の検討の進め方、工程表、演示構成 他

○第2回 全体会：平成29年 2月20日(月)

- 内 容：①北海道アイヌ協会「アイヌ文化発信会議役員」の選出
②アイヌ文化の今後の検討の進め方
③第8回冬季アジア競技大会を振り返って
※平成29年2月 6日 カムイノミ(札幌市役所) 祭司：澤田一憲
※ // 2月19日 開会式にてアイヌ文化発信(ムックリ・舞踊)
④工程表、演示構成 他

<要請活動>

○内閣官房東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部

- ・要請日：平成28年10月7日(金) 内閣官房推進本部事務局
・対応者：内閣参事官 松永 明/担当参事官 十時賢司、清水幹治

○公益財団法人東京オリンピックパラリンピック競技大会組織委員会

- ・要請日：平成28年11月22日(火) 組織委員会応接スペース
・対応者：企画財務局次長 小幡泰弘/式典課長 秋元康子

○橋本聖子参議院議員(組織委員会理事)

- ・要請日：平成28年11月22日(火) 参議院院内議員会長室
・対応者：橋本聖子参議院議員、谷川秘書同席